

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【学校像】伝統ある普通科高校として、以下の学校をめざす。

- ・希望に応じた進路実現をサポートする学校
- ・次代を担う志高くたくましい人材を育てる学校
- ・地域に信頼され誇りとされる学校

【育てる力】授業・学校行事・部活動・地域連携等を通じて、以下の力を育む。

- ・確かな学力とキャリアデザイン形成力
- ・校訓「自律・敬愛・共創」 — 自ら規律を重んじ他者を敬愛しながら、共働して価値あるものを創り出す力をつける —
- ・知徳体備わった豊かな人間性

2 中期的目標

1 学力向上と進路実現

- (1) 新学習指導要領と本校の実情や将来像をふまえ、「確かな学力」の定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組みを図る。
- ア 各教科の授業改善について「生徒の発言を引き出し、表現力を高める授業づくり」を共通目標として推進し、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成していくことをめざす。
- イ 校内・校外研修や教員の授業相互見学、研究授業の活性化などを通して、授業改善の取組みを進め、生徒の授業充実度や満足感を向上させる。
- ウ 全教室に設置された電子黒板とホワイトボードの活用と、GIGA スクール構想を踏まえた ICT を効果的に取り入れ、授業改善の推進を図る。
- (2) グローバル化や情報化社会に向けた国際的な視野をもとに英語コミュニケーション力を身につける。
- ア 「学習基礎」(毎朝のモジュール型学習：通称朝学)において、モジュメディアステーション(一斉配信機能付き電子黒板)を活用して英語ディクテーション学習で「聴き・書き取る英語力」と「集中力」を身につける。
- イ 「英語多読・多聴ステーション」をさらに充実し発展させる。
- ウ 英語力の習得に特化した校内語学研修の充実やスピーキングテストを実施することで、4技能を統合した発信する力を育成する。
- (3) 生徒の進路希望を実現させる。
- ア 進路目標に応じたコース(I型文系・II型理系)の指導を強化し、入試結果の向上をめざす。
- イ ガイダンス機能、情報提供を増加させ、進路実現につなげる。
- *中堅・難関大学現役合格者数が、7クラス令和5年度190名、7クラス令和6年度200名、7クラス令和7年度220名。(8クラス令和2年度171名、8クラス令和3年度151名、8クラス令和4年度182名)※令和2年度より中堅大の基準を変更し、合格実人数で表記

2 総合的な探究の時間の推進

- (1) 校訓「自律・敬愛・共創」の志を持ったよき社会人として、多様な他者の考え方や生き方を相互に認め合いながら、新たな価値あるものを共に創り上げていく資質と能力を養うため、総合的な探究の時間を推進する。
- ア 総合探究推進委員会は、分掌、委員会、教科、教員個人の実践やスキルの中から多くの効果的な情報を得て、より充実した取組みになるよう企画立案・実践していくことで「総合的な探究の時間」を推進していく。
- イ キャリア教育、ボランティア活動、ライフプラン作成、SDGs 課題解決学習等、各分野での実践を検証し、充実・発展させていく。
- ウ 人権教育、道徳教育を中心に、命の大切さを学び、自他を尊重する人権意識及び他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養い、一人ひとりが将来に対する夢や希望を持ち、自らの人生や未来を切り拓いていく力を育む。
- (2) 国際交流活動の充実を図る。
- ア 外部関係機関と連携し、海外の高校生等との交流を通じて国際理解を深め、コミュニケーション能力を高める。
- イ 1～2学年においてイングリッシュデイ(外国人講師のグループ別コミュニケーション・プレゼン研修)を実施する。
- (3) 読書活動の推進を図る。
- 図書館運営協議会を中心に読書活動の推進を図る。

3 府民に信頼される魅力ある学校づくり

- (1) 生徒指導・支援体制の確立(「自律・敬愛・共創」の志を育む)
- ア 支援相談委員会が、「高校生活支援カード」を活用して、支援を必要とする生徒の実態把握と個別の支援策を検討し、「個別の支援計画」を作成する。また、支援方法の研修を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる推進を図る。
- イ 自治会活動の充実を図り、体育大会・文化祭等の諸行事について、生徒の主体性と自治運営力を高めて活性させ、充実感を育むとともに、地域や保護者との交流を通して、お互いの信頼関係を深める。
- ウ 生徒指導・支援のあらゆる場面において、生徒の規範意識やマナー意識、あいさつ等、自他を思いやる心を醸成する。また、遅刻数の減少、事故等の防止に重点を置く。
- エ 部活動の活性化を推進し、バランスのとれた心身の成長と健全な人間関係を形成する力の育成を図る。
- (2) 学校経営体制の強化
- ア 学校経営の機動性・円滑性を高めるため、組織力の強化を図る。
- イ 教員の「やる気」を高め、より主体的に動くことができる教員集団を育成し、生徒の満足感につなげる。
- ウ 働き方改革の取組みとして業務の効率化を促進し、意識の改善を図る。
- エ 保護者との連携を図る。
- (3) 開かれた学校づくり
- ア より開かれた学校をめざし、積極的な情報提供や広報活動、ボランティア活動などを通して地域交流を展開していく。
- イ 令和4年の創立百周年記念事業の成果をもとに、引き続き生徒・PTA・教職員・同窓会・地域等のオール阿倍野態勢で、これからのに向けての取組みを進める。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 学力向上と進路実現	(1)「確かな学力」の定着と授業改善 ア 「生徒の発言を引き出し、表現力を高める授業づくり」	ア・学習支援室と各教科が連携して、授業アンケート、学校教育自己診断、相互授業見学等に取り組み、結果を総合的に分析し、課題を共有し、エビデンスに基づいた授業改善を進める。 ・ペアワーク、グループワークを積極的、組織的に活用する。 ・土曜学習会、補習、講習等学習支援の取組みを充実させる。	ア・授業アンケート、学校教育自己診断（以下、「アンケート」と記載）による生徒満足度、「わかりやすい授業・教え方に工夫」昨年度以上。 [生徒満足度 83%] [教員の ICT 活用率 78%] ・管理職授業見学時、50%実施目標。 ・「土曜学習会」参加者数平均 50 名以上。 [平均 57 名]	
	イ 授業改善	イ・校内・校外研修や相互授業見学を通じて授業改善に努める。 ・観点別評価、教科横断的学習等の研究を図り、授業向上グループを設置し、成果物としてルーブリックを作成する。	イ・アンケート（教員）の肯定「生徒の実態を踏まえ、指導方法の工夫・改善に努めている」80%以上 [84%] ・会議、研修等を 10 回以上実施する。 [新規]	
	ウ ICT を活用した授業実践	ウ・生徒 1 人 1 台の端末の導入によるオンライン学習等に向けた取組みを推進する。	ウ・ICTによる一斉学習、個別学習、協働学習の実践研修を、各学期に 1 回以上行う。 アンケート教職員 ICT 機器をよく活用している 80%をめざす。 [78%]	
	(2) 英語コミュニケーション力 ア 朝学習	ア「学習基礎」(朝学) 英語ディクテーション学習を中心に、年間計画をたて、「みる」「きく」等の感覚機能を活性化し、毎日の脳トレーニングを実施する。	ア・一斉配信英語教材の研究と作成。授業アンケートによる取組み意識の肯定を 80%以上維持。 [87%]	
	ウ 発信する力	ウ英語 4 技能のうち「話す」力の向上をめざした外国人講師によるイングリッシュデイ研修等、特別な取組みを計画して実施する。	ウ・全生徒対象のスピーキングテストを年 4 回以上実施。 [4 回] ・1～2 年時にイングリッシュデイ研修実施。	
	(3) 進路実現 ア 進路指導	ア・「進学講習」「学習キャンペーン」等を推進し、家庭学習時間を増加することで進路実現につなげる。 ・進路指導部と連携し阿倍高塾の授業内容の充実と映像教材の指導充実を図る。 ・入学時の学力の維持・向上に努めることを目標として、学力生活実態調査等を用い、進路実現を図る。	ア・平日の家庭学習時間 60 分以上の生徒の総数が学年総数の過半数を占めること。 [41%] ・阿倍高塾の生徒満足度 60%の維持。 ・中堅・難関大学合格者数 190 名。 [182 名]	
イ 情報提供	イ・進路指導部からの情報発信を増加し、進路に向けての生徒の意識の向上と同時に保護者の理解や協力を得る。 ・学習ガイダンス、進路ガイダンス機能を充実させる。(選択科目説明会・進路別説明会・学問別説明会等の充実)	イ・進路指導部からの保護者、生徒へのメール発信 60 件 [80 件] ・アンケート(保護者)「進路指導・情報提供に関する肯定値」80%の維持向上。 [82%]		
2 総合的な探究の時間の推進	(1)志学、人権・道徳教育、総合学習(総合探究)を総合的に行う実施計画推進 ア 総合的な探求	ア・志学、人権・道徳、総合探究の各委員会で、学年と連携して指導内容を充実する。 ・総合探究でキャリア教育の取組みや SDGs の学習を計画的に推進する。	ア 系統立てたキャリア学習を計画する。 ・アンケート(教員)肯定値「キャリア教育」80%以上。 [100%] ・月 1 回以上、生徒間の議論を組み込んだ総合探究を実施する。	

府立阿倍野高等学校

	<p>(2) 国際交流活動</p> <p>(3) 読書活動の推進</p>	<p>イ・これまでの取組み検証を踏まえて、引き続き、芸術鑑賞、人権講演会、美化活動、挨拶キャンペーンなどを企画し、その充実を図る。</p> <p>ウ・「花いっぱいの学校・清掃の行きとどいた学校」を目標に、『阿倍高を美しくする会』の支援とともに周辺地域のボランティア美化活動をより推進する。</p> <p>エ・人権教育、道徳教育推進計画を作成する。</p> <p>ア・国際交流委員会の活性化を図り、外国人短期研修やWEB交流等の機会を探る。</p> <p>ア・図書館を中心に読書・学習活動の推進を図り、読書習慣を身につける取組みを実施するとともにビブリオバトルの推進を図る。</p>	<p>イ・アンケート（生徒）「豊かな心や生き方について考える機会がある」肯定値80%をめざす。 [79%]</p> <p>ウ・アンケート（生徒）「授業にふさわしい環境」肯定値80%以上。 [82%] ・生徒自治会、同窓会、保護者、教職員が連携して年間5回の美化活動の取組みを推進する。 [5回]</p> <p>エ・拉致被害教材「めぐみ」を活用した人権教育を行う。</p> <p>ア・国際交流の実施回数を増加。 [3回]</p> <p>ア・図書館だよりの定期的発行を維持する。 [5回] ・年間貸出し冊数1200冊以上をめざす。 [1172冊]</p>	
<p>3 府民に信頼される魅力ある学校づくり</p>	<p>(1) 安全で安心な学校づくりと意欲ある学校生活</p> <p>ア 支援相談委員会の充実</p> <p>イ 生徒支援関連業務の充実</p> <p>ウ 美化関係業務の充実</p> <p>エ 部活動の充実</p> <p>(2) 学校運営体制の強化</p> <p>ア 組織力の強化</p> <p>イ 教員の育成</p>	<p>安全と安心を優先させることを前提におき、生徒満足度の向上を図り、授業と学校行事、生徒支援の各面でより一層生徒の主体性を育み、意欲ある学校生活を促す。</p> <p>ア・SC、SSWの活用を含め、教育相談体制を充実させ、個々の生徒及び家庭環境に対して、寄り添った指導を心がける。 ・支援を求めている生徒に対し、ニーズに合った支援を行うことで、生徒全体の「共に学び、共に育つ」意識を育む。</p> <p>イ・自治会活動において生徒の主体性と自治運営力を向上させ、感染症防止対策を踏まえた体育大会や文化祭等各行事の進化、発展をめざす。 ・遅刻指導を徹底する。 ・安全な通学、特に自転車通学の事故防止のための巡回指導を充実させる。 ・自然災害への防災体制の強化及び防災教育を推進する。</p> <p>ウ・年3回の安全点検を実施し、危険を排除する。 ・清掃が行き届く分担場所の工夫と清掃の確実な実施。 ・生徒自治会を主体にクリーンキャンペーンを実施し、校内美化活動を通して愛校心と仲間意識を育む。</p> <p>エ・大阪府運動部活動の在り方に関する方針の主旨を踏まえ、バランスのとれた部活動を推進する。</p> <p>ア・教職員全体のチーム意識を高めるなど組織力の強化を図る。</p> <p>イ・オンラインPTによる授業改善研修の実施。</p>	<p>ア・アンケート(生徒)の「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定値70%以上。 [71%] ・支援相談委員会と支援が必要な生徒、保護者との連携を全教員で共有する機会を学期に1回以上設ける。</p> <p>イ・各行事で生徒アンケートを実施。 生徒満足度90%の維持(体育大会、文化祭) [体育大会91% 文化祭96%] ・遅刻者数→年間1人1.5回以内をめざす。 ・自転車通学生徒の交通法規遵守、マナーの向上。→年間事故件数0をめざす。 [3件] ・災害発生時等、緊急時の生徒の安否確認や連絡確認をメールシステム等で実施できる体制を整え、登録者100%をめざす。</p> <p>ウ・安全点検やアンケートを実施し、問題点は速やかに改善する。保護者からの指摘件数0件をめざす。 ・アンケート(教員)「清掃や設備点検がいきとどいている」の維持。 [84%] ・クリーンキャンペーンへの参加者数300人以上。</p> <p>エ・適切な休養日及び活動時間の設定に基づいた年間計画表の提出。</p> <p>ア・アンケート(教員)「各分掌・学年間の連携が円滑に行われ、各種会議で教員間の意思疎通や意見交換を行い組織的に機能している」の向上。 [71%]</p> <p>イ・アンケート(教員)「授業方法について検討する機会や経験の少ない教職員をサポートする積極的な体制がある」の向上。 [59%]</p>	

府立阿倍野高等学校

<p>ウ 働き方改革</p> <p>エ 保護者連携</p> <p>(3)開かれた学校づくり</p> <p>ア H.P、メール発信</p> <p>イ 広報</p> <p>ウ 地域交流</p>	<p>ウ・全校一斉退庁日及びノークラブデーの完全実施、長時間労働削減のための業務効率化と意識改革を図る。</p> <p>エ・保護者との意見交換や意思疎通による連携を図る。</p> <p>ア 改新されたホームページ、メールシステムの充実を図る。</p> <p>イ・広報 PT を立ち上げ、本校の持つ「落ち着いた環境で学べる」という強みを発信し、志願者数増につなげる。また、早い時期から中学校の情報を集約することで中学校訪問を有効に活用する。</p> <p>ウ・家庭科選択生徒や部活動生徒、有志生徒中心に地域行事やボランティア活動に取り組むことにより地域との交流を深める。</p>	<p>ウ・安全衛生委員会で月1回検証する。</p> <p>エ・各学年保護者会を1学期に実施する。</p> <p>ア・アンケート(保護者)「H.P、メルマガで情報提供されている」肯定値の向上。 [84%] ・HP更新回数を増加し、年100回更新する。</p> <p>イ・志願者数の維持。 [1.4倍]</p> <p>ウ・地域の方との交流回数のべ25回以上をめざす。 [25回]</p>	
--	--	---	--